



着任のご挨拶

9月から天塩町地域おこし協力隊（酪農担当・業務委託型）として着任いたしました、広島県出身の三宅克佳（みやけ・かつよし）と申します。酪農学園大学を卒業後、飲食業で勤務した後、酪農業を11年間、行っておりまして。酪農実務で経験してきたことを生かして、天塩町での新規就農を目指す方々に寄り添い、支えるような活動を目指していきます。天塩町はまだ分からないことが多いので農家や地域の皆様に教えていただきながら、天塩町の酪農の担い手のために尽力できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



巡回展開催のご案内

地域おこし協力隊の前川です。

9月24日（木）から10月11日（日）までの期間、天塩町社会福祉会館2階小会議室において、宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」を開催いたします。

近年、北海道のみならず全国的にクマに関する関心が高まっている状況を踏まえ、「ヒグマと人間の関わり」に焦点を当て、考古学・生物学・歴史学・郷土史など多様な視点から、各地域におけるヒグマとの関わりを紹介する内容となっています。興味・関心のある皆さまにおかれましては、ぜひ会場へお越しください。

なお、会場は天塩町社会福祉会館となります。また、展示期間は約2週間と短いため、お見逃しのないようご注意ください。

※入り口では、受付名簿にお名前等をご記入のうえ、会場へお入りください。



《宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」》

会場：天塩町社会福祉会館 2階小会議室

期間：9月24日（木）～10月11日（日）

開館時間：10:00～18:00

休館日：月曜日（9月28日、10月5日）

着任して1ヶ月が経ちました

天塩町地域おこし隊の小林です。着任より約1ヶ月、あっという間に過ぎました。

今回は佐久間隊員とともに進めている活動について書いてみようと思います。いま進めている活動は、大きく分けて①天塩町の植生調査と記録、②啓徳小中学校の活用に向けた取り組み、③作品制作、の3つあります。

まずは①天塩町の植生調査と記録について。

天塩町には、豊かな植生がたくさんあります。しかし、近隣の町と比較して、その記録データが圧倒的に少ない（豊富町の1/7、中川町の1/13、幌延町の1/38）事実があります。この植生は、数年で入れ替わってしまう可能性があるうえ、最近は外来種に追いやられてその流れが加速しています。

そこで、「さく^{よう}葉標本」という押し花の標本を作って、記録に残していく活動を進めています。植物を採取し、新聞紙にはさみ、押し花にして乾燥させて、A3の台紙に貼る、といった気軽なものです。が、実はちゃんと国際規格に沿っておりれっきとした学術標本になります（最近では、朝ドラ「らんまん」でテーマとして取り上げられていました）。

来年为目标に、ワークショップなどの形でみなさんにも楽しんでいただけるよう、準備を進めています（植生調査へ出向いたり、採取の許可取りをしたり）。目標は、標本づくりの体験ができる「植物標本館（ハーバリウム）」の設立です。町内町外問わず、交流の場のひとつのかたちとして実を結べるよう、一歩ずつ勉強していきます。



そして、②啓徳小中学校の活用に向けた取り組みについて。

将来の活用を考えながら、少しずつ内部の掃除を進めています（虫の量がすごい！）。地域のみなさまの思い入れがある場所ということと、法律的にいろいろあるとこのことで、今後活用の方向性は話し合いを通じて決まっていくようです。地域コミュニティの場にできたらいいな、と個人的に思っております。

わたしたちそれぞれの作品制作についてはまた今後、書こうと思います。少しずつ進んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。